

走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～

Vol. 9 発行 横須賀市教育委員会 2023.12



11月9日に開催した第7回走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会の内容についてお知らせします。

○第7回地域別協議会の主な議題

- ・走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る答申について

1 走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る答申について

第7回の協議会では、10月31日に横須賀市立小中学校適正配置審議会から教育委員会へ以下のとおり答申されましたので、その内容についての説明等を行いました。

答申では「学区を編入する」という表現が使われていますが、両校が「統合」し、新たな学校になるという考え方です。

(審議会からの答申)

1 答申内容

走水小学校区を馬堀小学校区に編入する方策が妥当である。

2 理由

走水・馬堀地域においては、走水小学校と馬堀小学校の学校規模の小規模化が課題となっており、特に走水小学校においては複式学級となっていることから、喫緊の課題を解決するための方策として判断した。

付言

教育環境整備の方策を実施するに当たっては、両校の児童が円滑に新たな環境で学べるようにすることや通学の安全を確保する方策を講じる必要があると考えます。

また、通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後は、全市的な遠距離通学に対する方策の検討が必要であることを申し添えます。

今後、教育委員会において答申に基づき審議を行い、方策を決定します。方策の決定時期は年明け以降となります。

走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る答申について、協議会委員の皆様のご意見を伺いました。

- 走水の住民が一番懸念しているのは、学校が走水地区からなくなることによって地域の衰退に繋がることです。今まで伝統行事等を支えてきた小学校がなくなるとは、地域の生活に大きな影響があります。走水の文化、伝統を守るということを誰が担保するのかについて、教育委員会でなければどこに相談をすれば良いのか、そういった部分が欠けていると思います。そういった部分のフォローがない限りは、走水の人達は統廃合に関して、素直に賛成できない状況だと思います。
- 地域説明会において、住民の皆さまにしっかりと説明をしていただかないと、納得いただけないと思います。資料を渡すだけで、このような資料です、ご意見はどうですか、という進め方では相当な反感が予想されますので、どのような議論がなされたのかというところは説明していただく必要があると思います。
- 協議会の中で、通学路の安全性の問題や、児童同士が同じ学校になったときになじめるのか、などの課題が挙げられました。走水地域と馬堀地域を両方見ている気になるのは、山と海で分かれた二つの地域であり、相当距離が離れているということです。生活している方々の文化も違います。この二つを一つにしたときに、うまくやっていけるのかについては不安を感じます。地域間での連携という部分は大きな問題だと思っています。
- 人数が少ないから統合し、クラス替えができる規模にするということは、審議会が始まった当初からあった方策と同じで、非常に単純な結論であり、残念です。
- 教育上の工夫で連携等の話もしましたが、審議会にて負担が大きく難しいだろうというご意見があり、却下されてしまったというのは非常に残念です。ただ、今後の進め方としては検討していく価値があるというように受け入れていただいたのはありがたいと思います。
- 編入という表現はどうかと思います。編入という表現で、走水小学校をなくして馬堀小学校にしましょう、という書き方をされると、走水小学校に愛着のある方は多くいるので、その方々は不満を覚えると思います。例えば、馬堀小学校の名前を馬堀走水小学校にできますか、という話だと思います。編入ではなく統合であり、名前を残すことによって走水小学校側の思いを引き継ぐというような学校編制もあり得ると思います。新聞記事に出ていたように、廃止というような少し強めの表現がされていると、記事を見た方は残念に思っているのではないかと思います。どのような取材を受けたのかが分からないのですが、気になるところです。
- 審議会から答申が出ましたが、未解決の課題がたくさんあります。それらをスムーズに解決する方策や、また別のやり方というものを考えていかなければならないと思うので、答申が全てだとは思ってません。一つの方向性としては決まったかもしれませんが、この中で議論をしながら、子どもたちにとってより良い教育環境を構築していくことがこの会議の目的であり、教育委員会は真剣に取り組んで、ご検討いただければと思います。

- 走水の方々は一生懸命子どもたちを支えており、先日の運動会にも地域の方にたくさん来ていただいて、児童を応援しながら一緒に盛り上げていただきました。
また、再来週には地域の防災訓練を走水小学校で行います。その中で、PTAと合同でのイベントの企画があつたりしますので、そのような意味では走水地域における走水小学校の位置付けというのは非常に重要だと思っています。地域全体のコミュニティをつなぐ要になっていると思いますので、その要を取り去ることによって、地域の連携にインパクトがあるのではないかと思います。地域コミュニティの中心に小学校があるという事実は、市議会にもお伝えいただきたいと思ひますし、市長にもご認識いただいた上で審議していただきたいと思ひます。
- 通学の安全性について、下校のリスクが大きいと思ひます。通学路には暗いトンネルがあり、バスに乗り遅れたか何かで歩いてる子がいたりして、注意することがあります。そういった場所についての下校の見守りというのは、徒歩での登下校を想定しているのであれば、ご検討いただきたいと思ひます。
- 統合という件だけではなく、これからの横須賀のことを全市的に考えながら、民間バスなのか、スクールバスなのかなど、議論していただければと思ひます。
- 先日、馬堀小学校の学校運営協議会が行われ、その際にもこの話が出ました。教育委員会もこれから検討していくと思ひますが、現場の校長先生たちも、子どもたちが困らないように今からいろいろ考えていただいております、安心しています。
- 統合が決まった際には、子どもたちがスムーズになじめるようにということについては、すぐにでも交流の場を考えて、まだ具体的には決まっていますが、できるだけお互いの名前も顔も分かるようにし、仲良くなって、友達として一緒にやっていけるんだと思へるような活動をしていきたいと思ひます。
学校名についても、馬堀小学校に来てもらうということではなく、二つの学校が合わさることで、どちらの子どもたちも気持ちよく一緒にやっぺいこうと思へるようについていかなければいけないという話を、学校運営協議会の中でしました。これからすぐにでも、できることを考えていきたいと思ひます。
- 審議会でも、走水の教育環境をうまく活用できれば良いというご意見がありました。教育委員会の手を離れて、売り払われてしまつたり、廃墟のようになってしまつては非常にもったいないと思ひます。
- 通学はとても大切なところで、絶対に事故があつてはいけなないので、地域別協議会としても意見を出していければと思ひます。
- 編入という表現で、走水小学校をなくして馬堀小学校にしましよ、という書き方をされると、走水小学校に愛着のある方は多くいるので、その方々は不満を覚えると思ひます。編入ではなくて統合であり、名前を残すことによって走水小学校側の思ひを引き継ぐというような学校編制もあり得ると思ひます。

2 次回、第8回地域別協議会の開催について

次回の開催日程については、未定です。

詳細が決まり次第、横須賀市ホームページにてお知らせします。

地域別小中学校教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



横須賀市 検討協議会



横須賀市立小中学校適正配置審議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/shouchuugakkoutekiseihaichisingikai.html>

QRコード



横須賀市 適正配置



～皆さまからのご意見等を受け付けております～

ご意見等がございましたら、以下のファクスかEメールまでお願いいたします。

事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849

Eメール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀が好み!

